



Injection for Innovation

つなぎ、はぐくむ、日精のモノづくり

2021年3月期 決算説明

NISSEI
D

日精樹脂工業株式会社

2021年5月

2021年3月期 業績の概要

単位:百万円 ()内前期比

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
2021年3月期	41,604 (7.2%)	1,145 (4.1%)	1,070 (Δ5.3%)	598 (Δ7.1%)	30.71円
2020年3月期	38,801 (Δ11.9%)	1,100 (Δ68.6%)	1,130 (Δ68.5%)	644 (Δ75.1%)	32.30円

売上

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の鈍化に伴う厳しい受注状況が続いたものの、NEGRI BOSSI S.P.A.グループの売上の寄与や射出成形機の需要が緩やかに回復し始めたこと等から、売上高は前期比7.2%増の416億4百万円となりました。

利益

- ・主力である射出成形機の需要が緩やかに回復したことにより営業利益は前期比4.1%増の11億4千5百万円、経常利益は前期比5.3%減の10億7千万円となりました。
- ・この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は5億9千8百万円(前期比7.1%減)となりました。

連結業績概要 [前期比]



単位：百万円、比率%

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	28,095	31,377	3,282	11.7
周辺機器	2,478	1,774	△704	△28.4
部品	5,348	6,035	687	12.8
金型等	2,878	2,417	△461	△16.1
売上高合計	38,801	41,604	2,802	7.2
売上総利益	10,237	12,219	1,981	19.4
一般管理販売費	9,136	11,073	1,937	21.2
営業利益	1,100	1,145	44	4.1
経常利益	1,130	1,070	△59	△5.3
親会社株主に帰属 する四半期純利益	644	598	△46	△7.1

連結売上高(セグメント別)増減 [2020年3月期⇒2021年3月期]

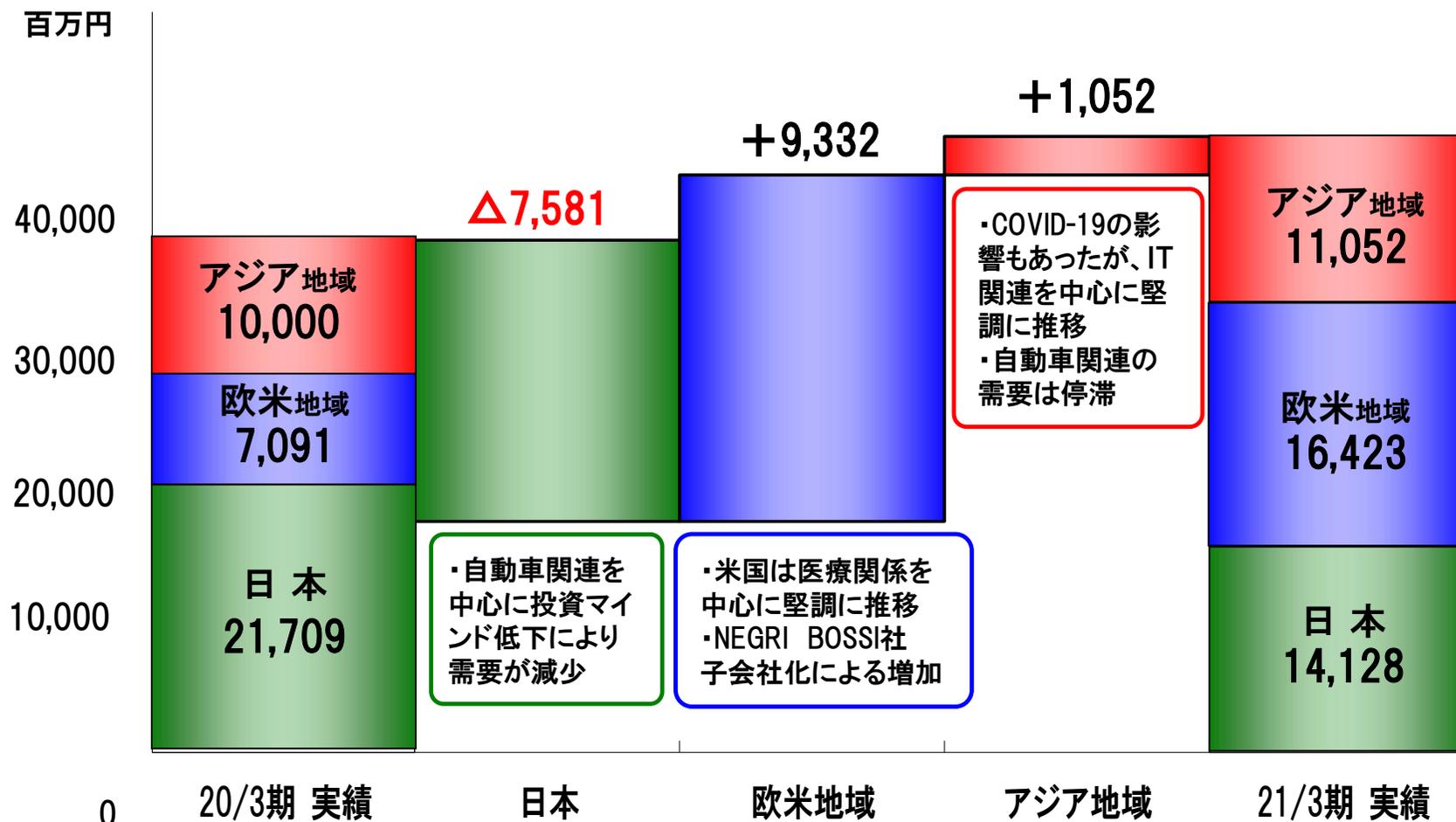


外部顧客への売上高の増減

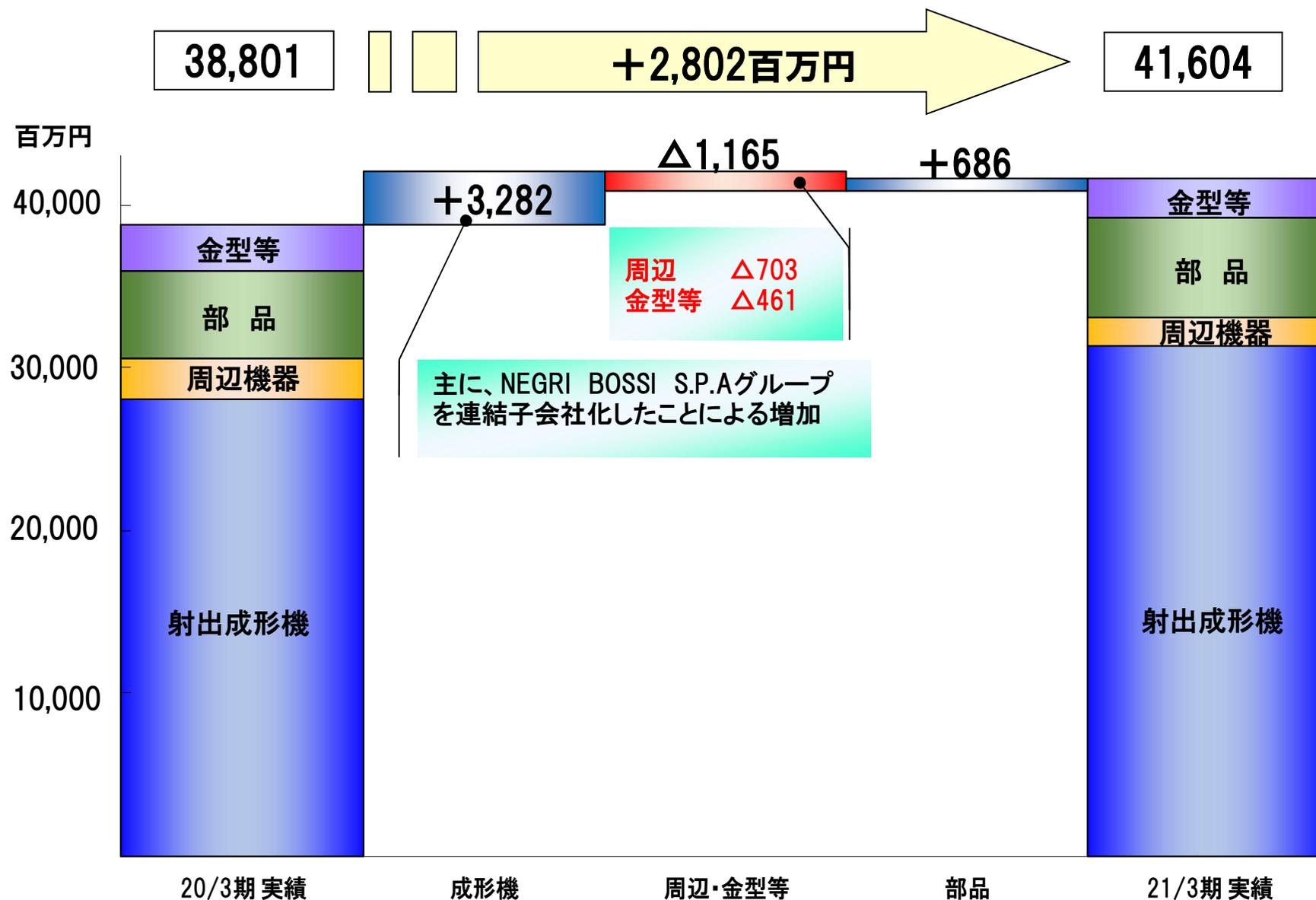
38,801

+2,802百万円

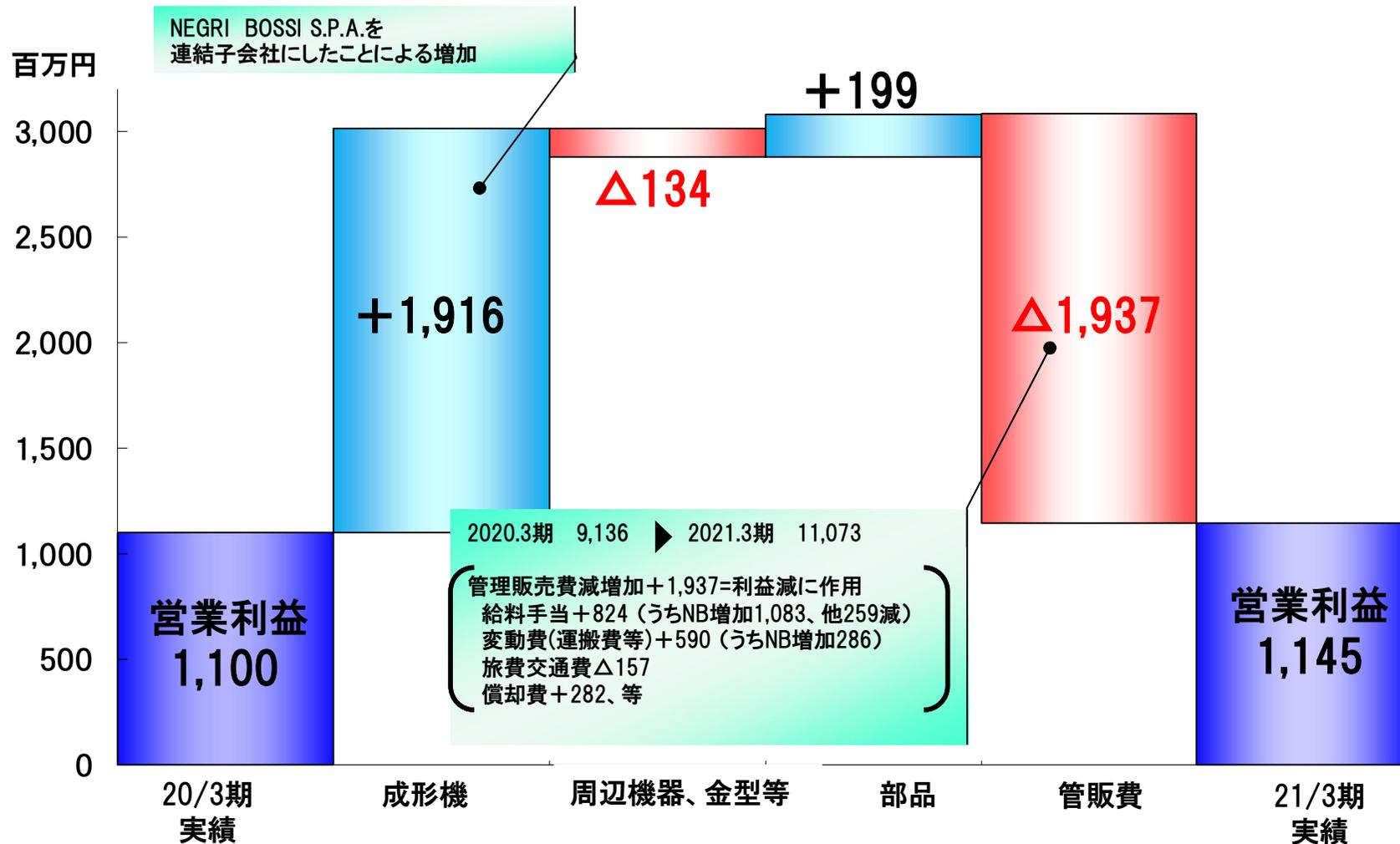
41,604



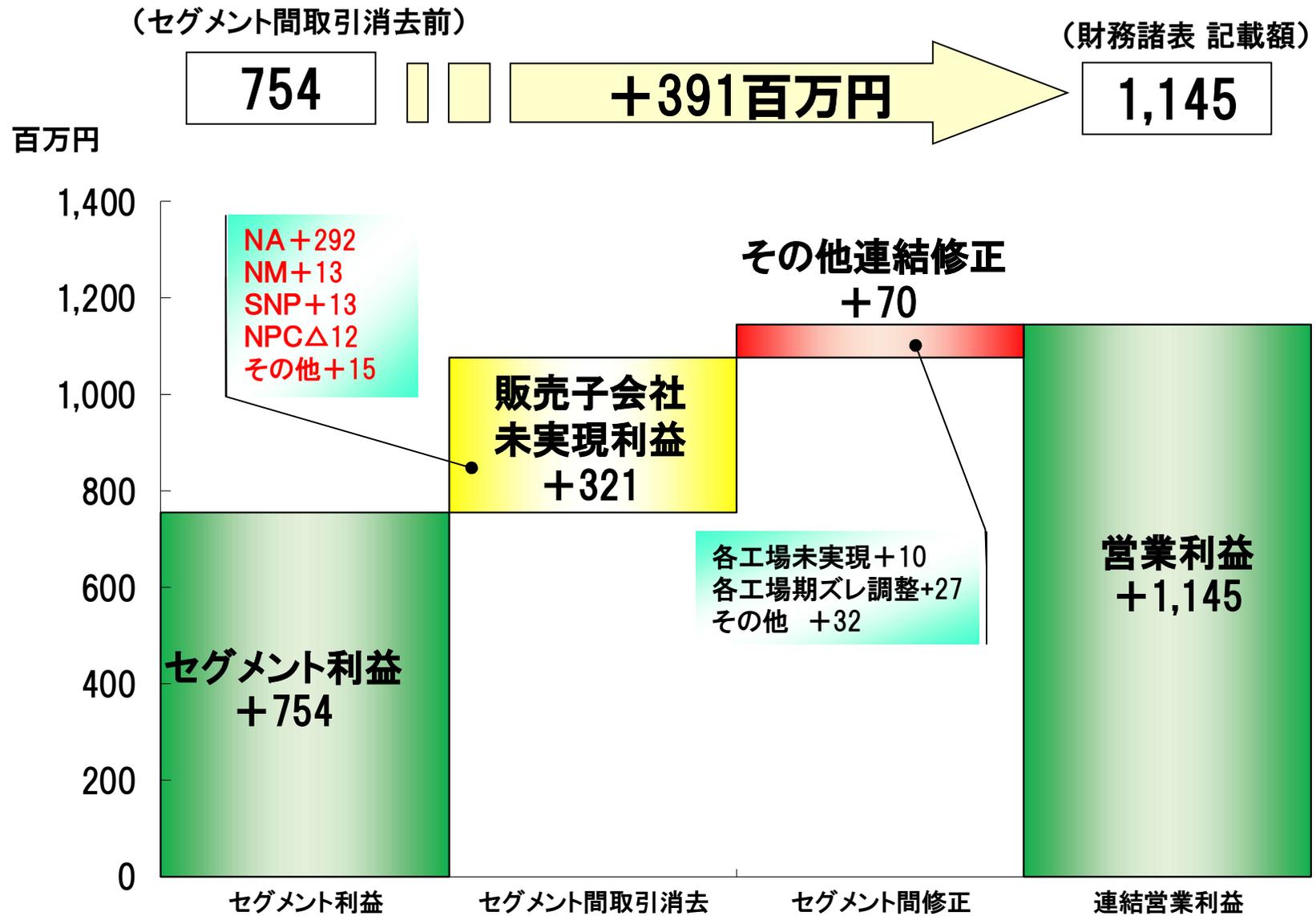
連結売上高(製品別)増減 [2020年3月期⇒2021年3月期]



連結営業利益(製品別)増減 [2020年3月期⇒2021年3月期]



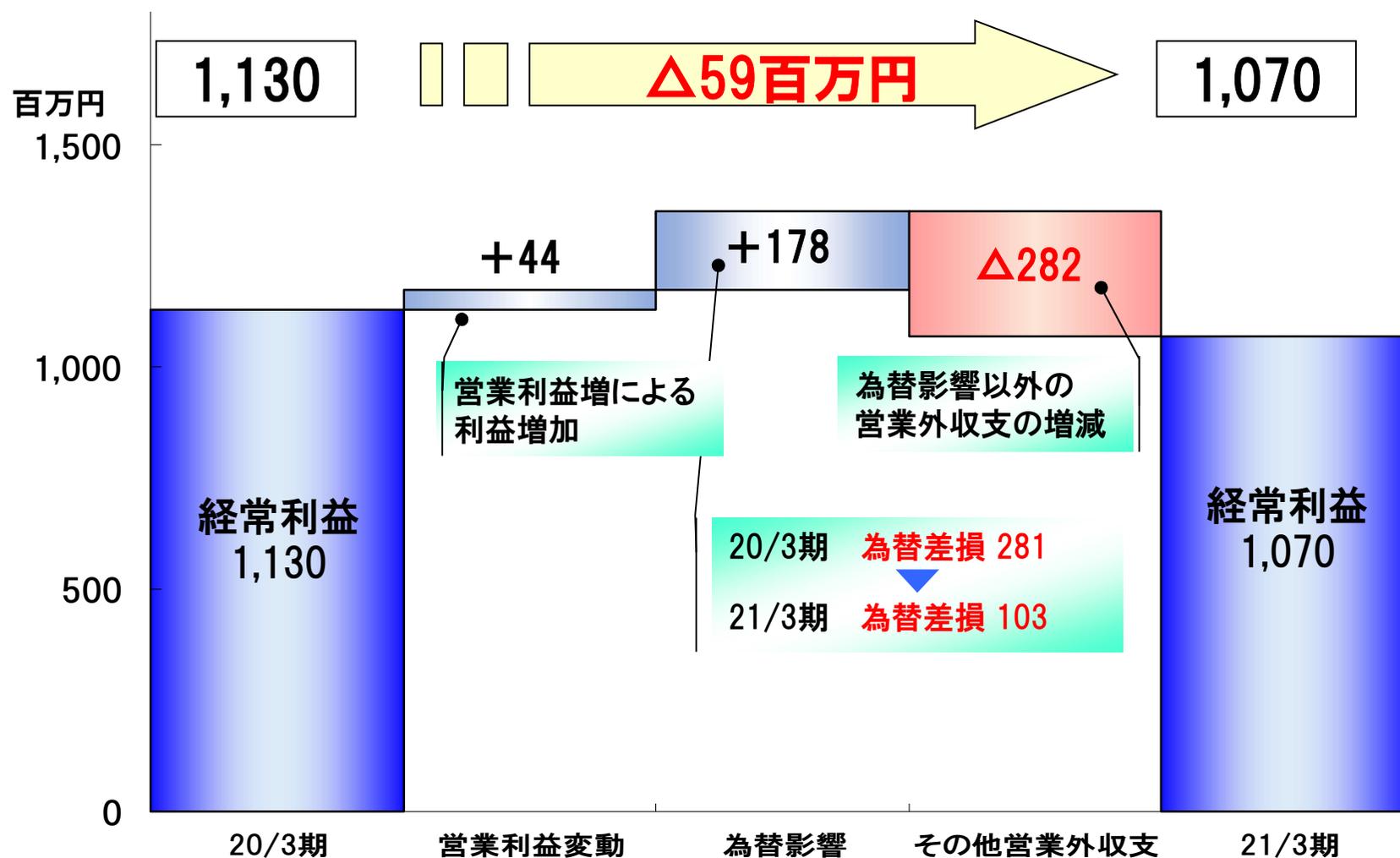
連結営業利益 ～セグメント間取引消去



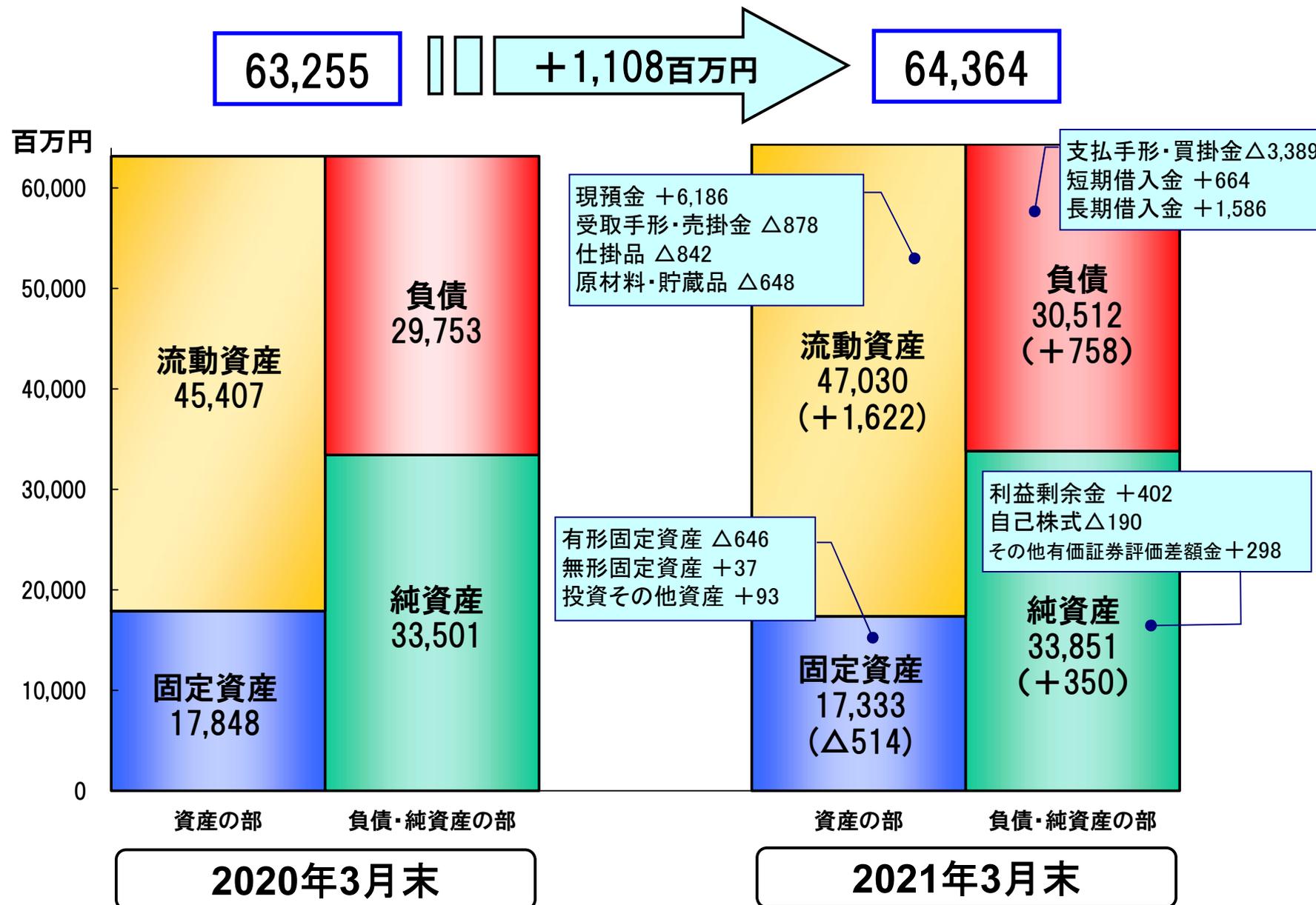
連結経常利益の増減 [2020年3月期⇒2021年3月期]



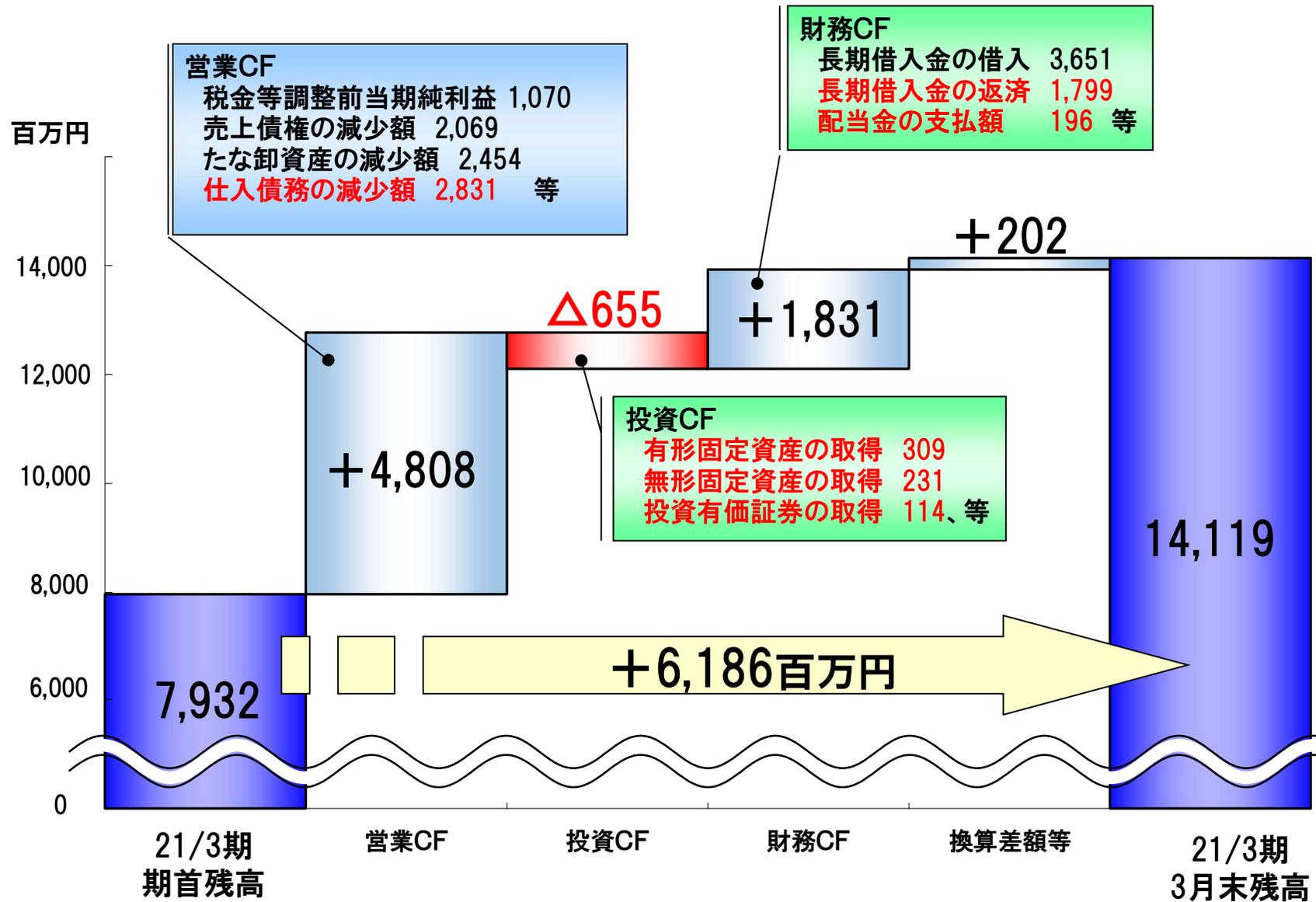
\$円レート: 期初 ¥ 108.83 ⇒ 3/末 ¥110.71
 元円レート: 1/初 ¥15.67 ⇒ 12/末 ¥15.88



連結貸借対照表の増減 [2020年3月末⇒2021年3月末]



連結キャッシュフロー ～現金及び現金同等物の増減～



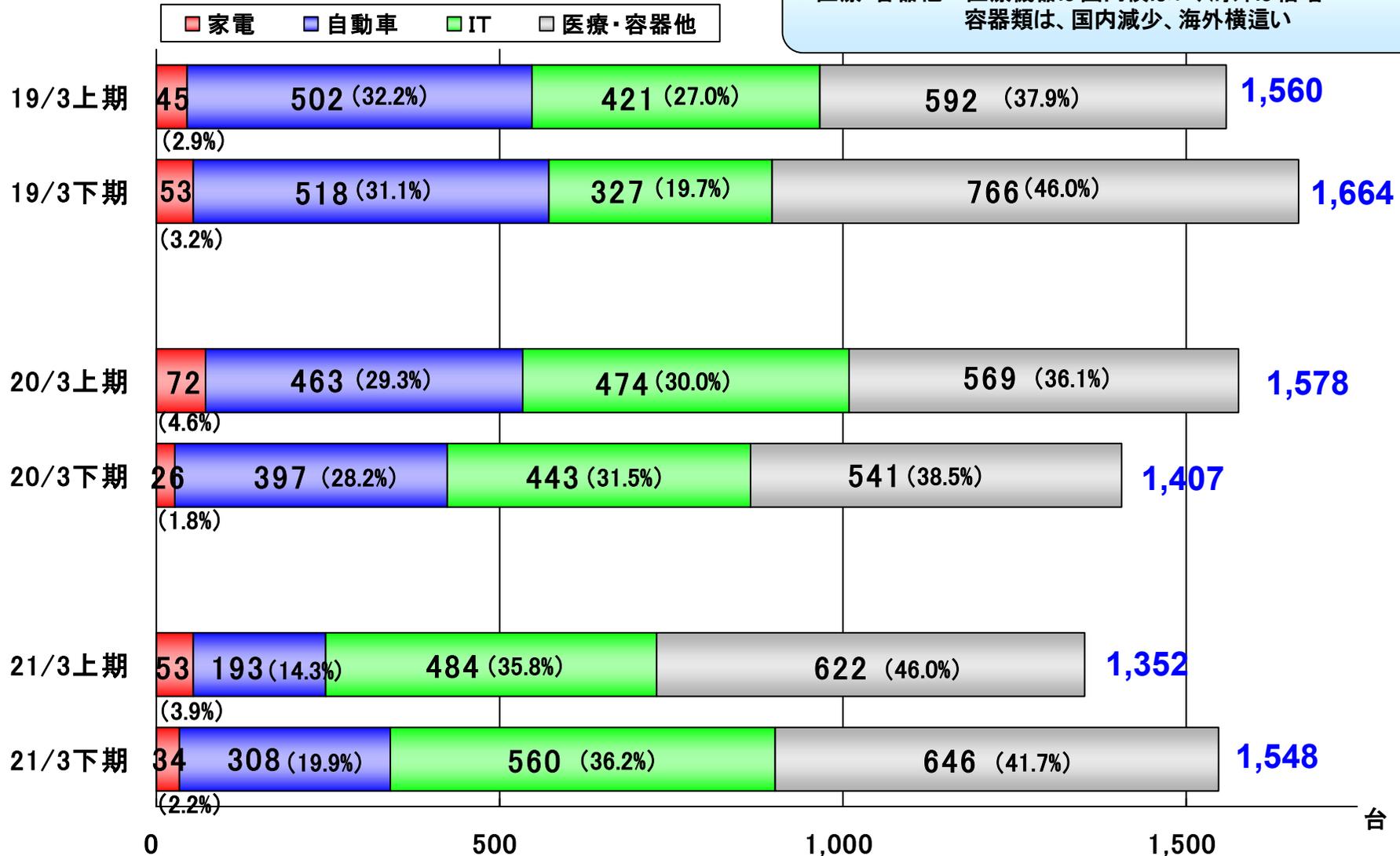
射出成形機の需要先別出荷台数推移(当社)



自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、出荷の大半を占めている。

2021年3月期

- 自動車…国内減少、海外減少したが期後半から緩やかに回復
- IT…アジアにおいて好調。
- 医療・容器他…医療機器は国内横ばい、海外は倍増
容器類は、国内減少、海外横這い

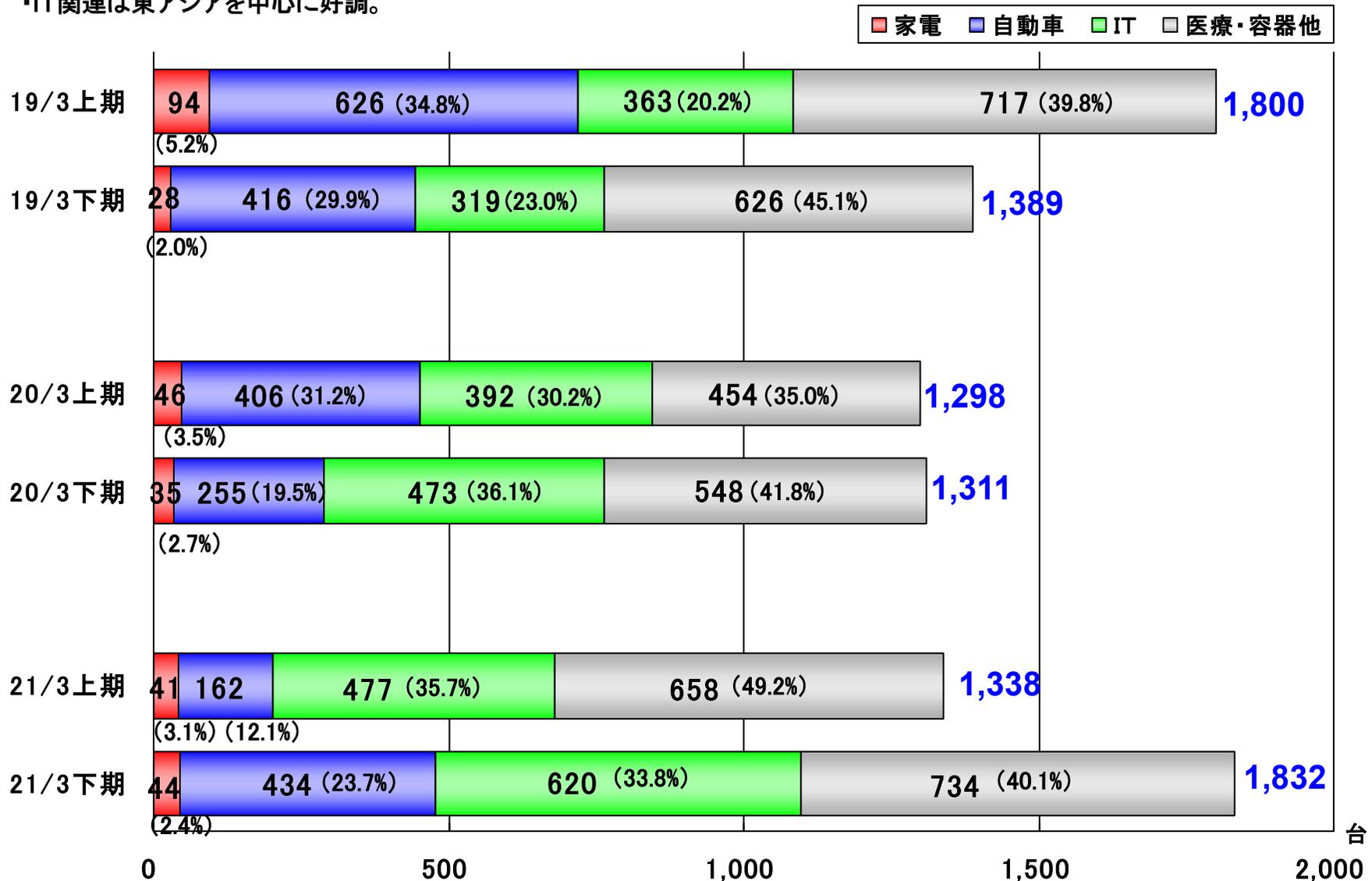


射出成形機の受注推移

射出成形機の需要先別受注台数推移(当社)

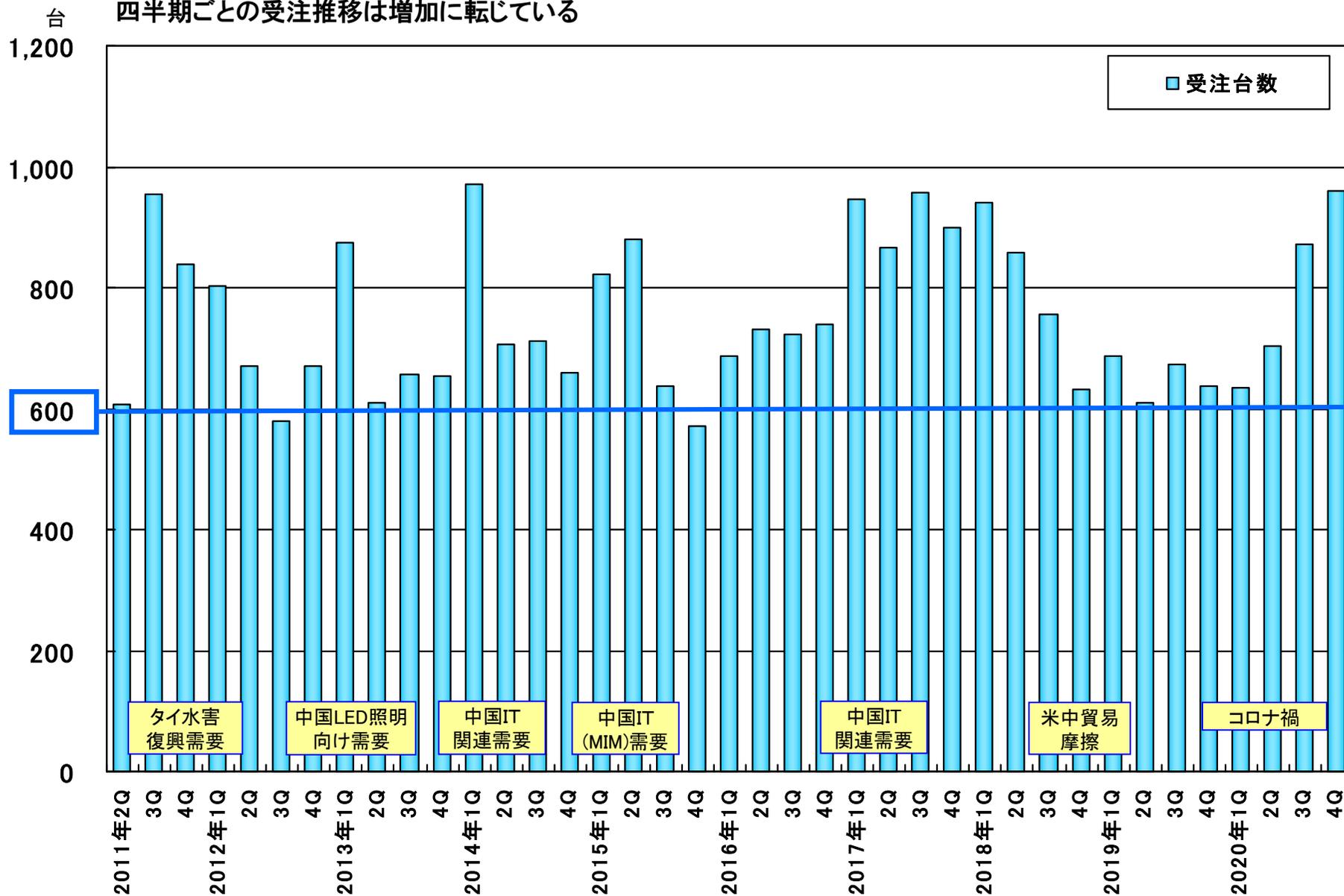


- ・21/3期の受注台数は3,170台。前期比21.5%増。
- ・19/3下期からの停滞状況から、自動車関連の受注環境が徐々に改善。
- ・IT関連は東アジアを中心に好調。



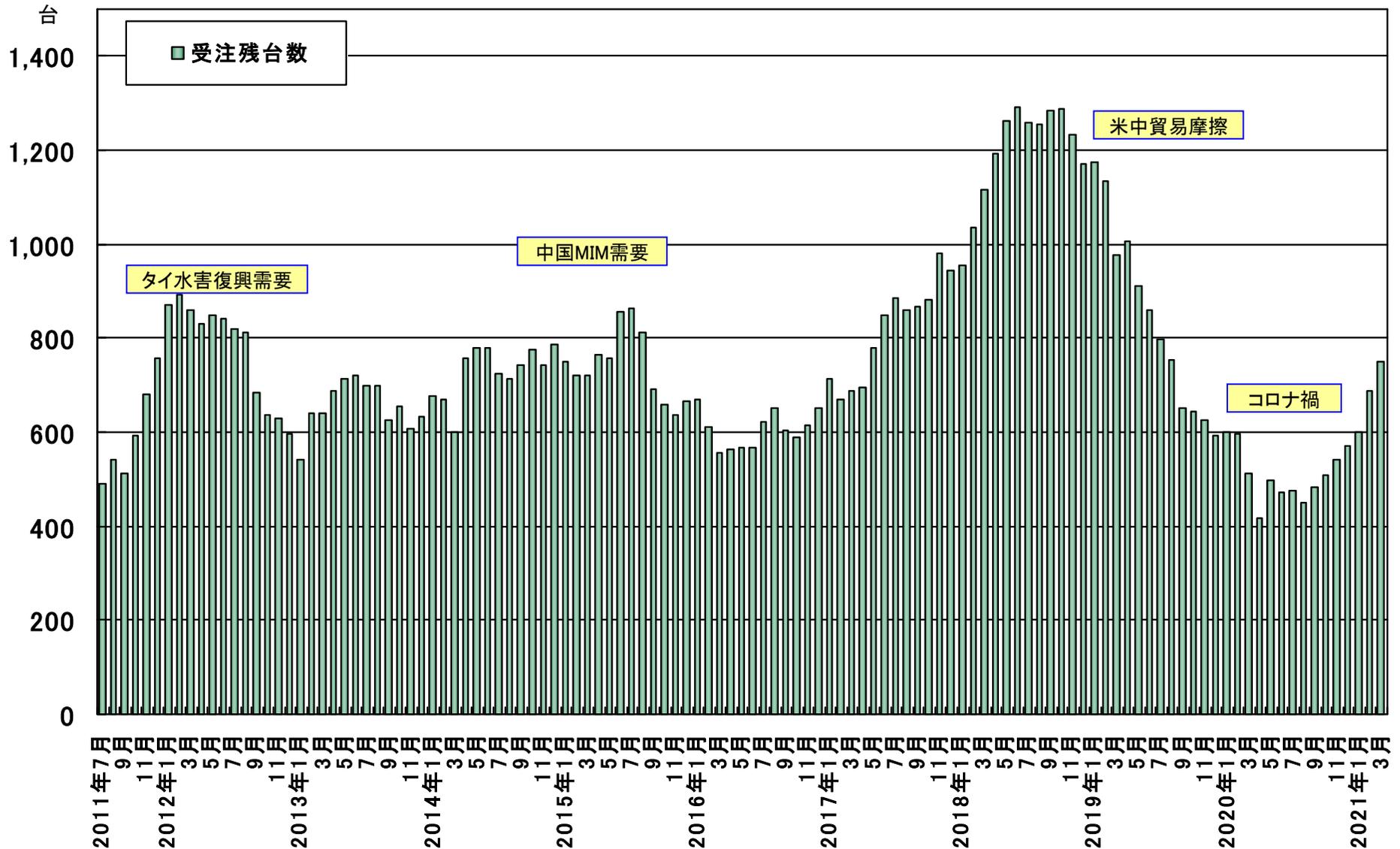
射出成形機の受注台数推移(当社)

東アジアの回復が早かったことから、2020年1Qを底にして
四半期ごとの受注推移は増加に転じている



射出成形機の受注残台数推移(当社)

米中貿易摩擦の長期化により北米を中心とした設備マインド停滞が継続する中、
 新型コロナの影響により減速感があつたが、徐々に回復傾向にある



第三次中期経営計画

(2019年度～2021年度)について

【経営ミッション】

私たちの経営ミッションはお客様の価値を創造することです。そしてお客様に満足していただき、射出成形技術を通して社会に貢献します。

【経営理念】

世界の日精
プラスチックを通して人間社会を豊かにする

【経営目標】

1. グローバル経営体制の強化

- ・ 連結経営機能を更に強化し、グローバル経営を実践する。
- ・ キャッシュフロー経営を重視し、収益力を更に強化する。
- ・ パートナー企業とのサプライチェーンを強化する。

2. お客様満足度の充実

- ・ グローバルネットワークにより、お客様の満足度充実を図り、企業価値を高める。

3. 環境経営の強化

- ・ グローバル環境経営への対応を図り、省資源・省エネルギー等に配慮した取組みを強化する。

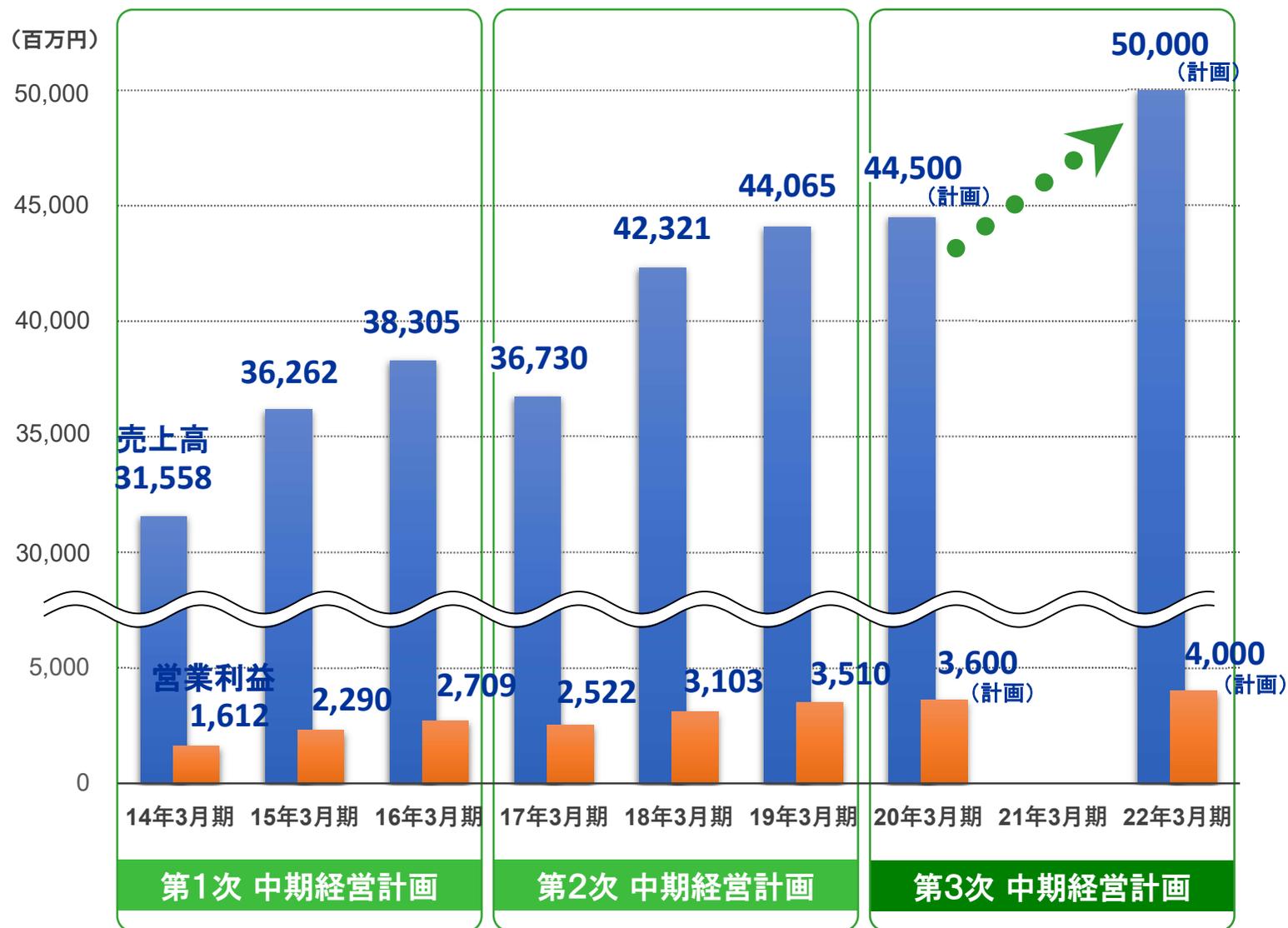
4. グローバル人材の育成と活用

- ・ グローバル人材の育成と活用を図る。
- ・ 社員の働きがいを充実させ、グローバル企業としての価値を高める。

本3ヵ年(2019年度～2021年度)は、
グローバル経営を進化させ、
グローバル環境への対応を図り、
「フューチャーデザイン2026」※の
達成に向けた体制づくりを行う。

※「フューチャーデザイン2026」:長期的な観点から成長戦略や業績目標を見据え、
取組みを進めている長期的な経営目標

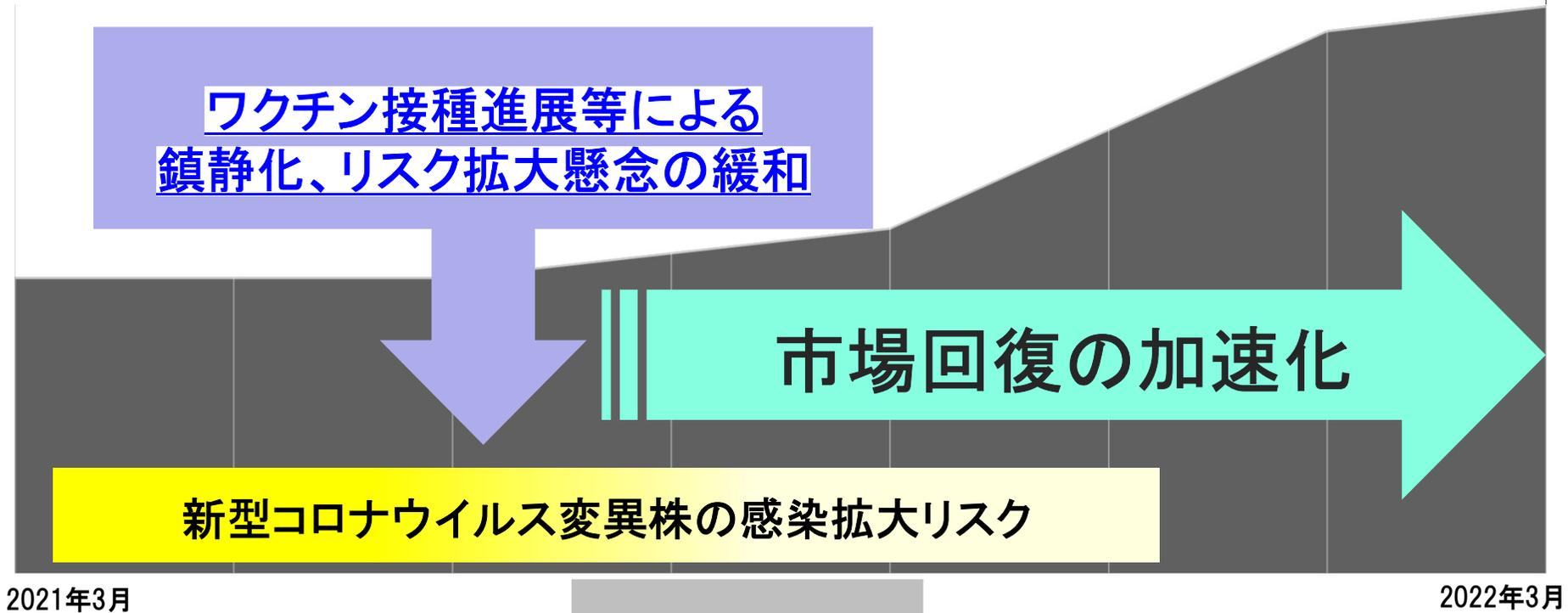
連結売上高・営業利益推移 >>> 数値目標



2022年3月期計画について

経営方針

1. **真のグローバル経営の強化**
2. **グローバル市場への積極的展開による
営業強化**
3. **グローバル生産体制の強化**
4. **グローバルリスク管理体制の強化**



上期

前期下期の水準を維持しながら
回復基調を堅持
⇒医療、通信(5G)、環境対応

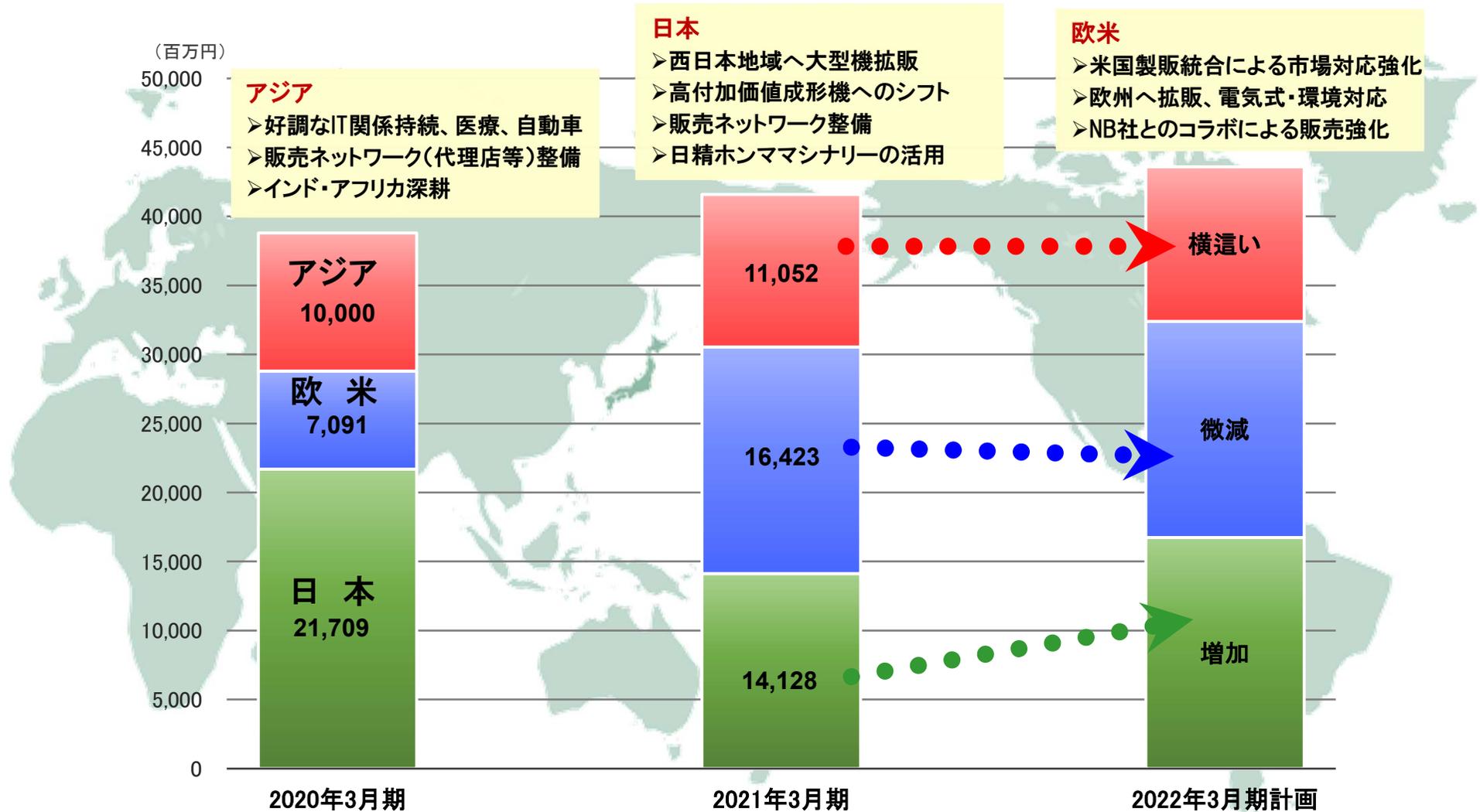
下期

市場拡大の可能性が高まる
ものと予想
⇒脱炭素、自動車(EV化促進)、
医療、通信(5G)、社会のDX化

単位：百万円、比率%

	2021年3月期 実績	2022年3月期 連結計画	
		通期	増減 %
売上高	41,604	43,600	4.8
営業利益	1,145	2,400	109.5
(利益率)	2.8	5.5	—
経常利益	1,070	3,350	212.8
(利益率)	2.6	7.7	—
当期純利益	598	2,450	309.1
(利益率)	1.4	5.6	—

◆セグメント地域別の売上高



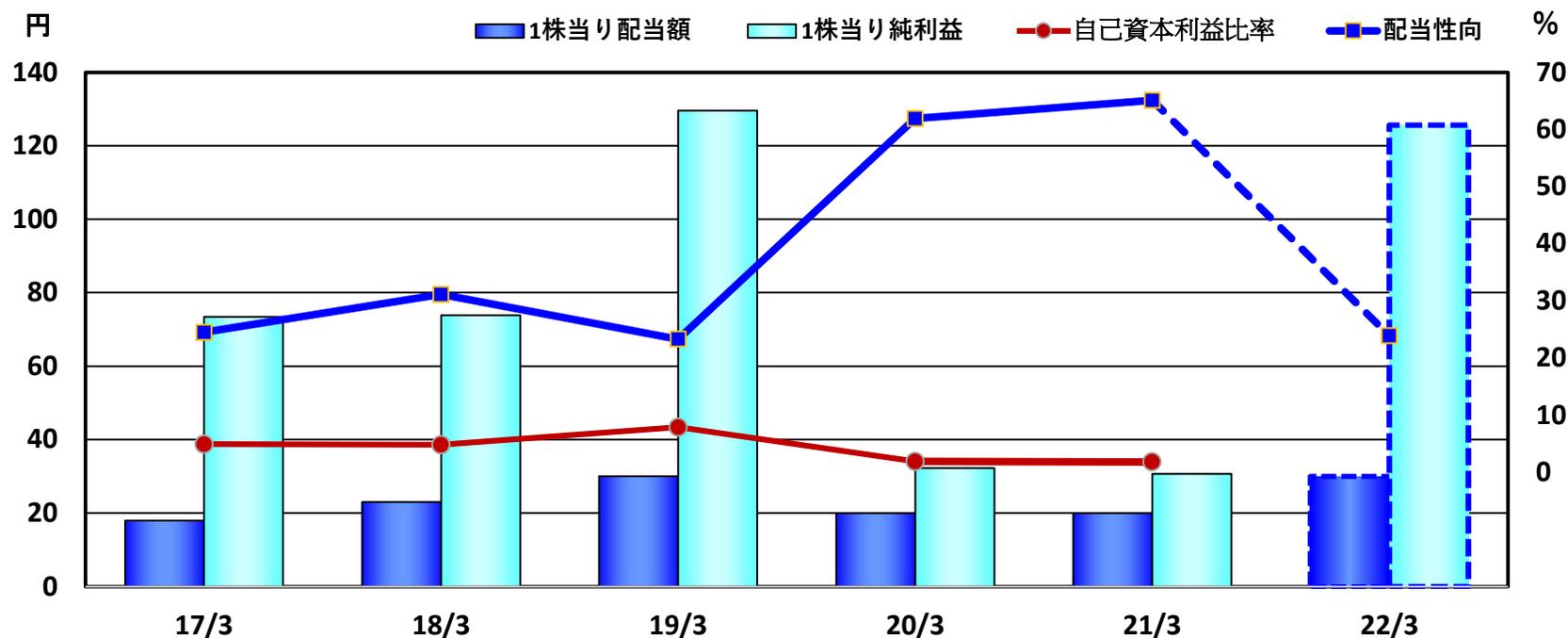
2022年3月期 システム関連等投資、米国工場の自動倉庫等を計画。

百万円

	2022年3月期 計画 ()は予算申請分	
主な設備等	本社	
	本社ネットワーク更新等	61
	本社外壁、屋上改修工事	36
	工場空調、照明設備更新	94
	工作機械増設・更新	67
	太倉工場 生産管理システム等	22
	米国工場 自動倉庫等	135
	(日精ホムマ 設備増強)	(298)
	(日精メタル 設備増強)	(87)
	その他、維持投資等	110
設備投資総額	525	
本社出資		
減価償却費	1,150	
研究開発費	338	

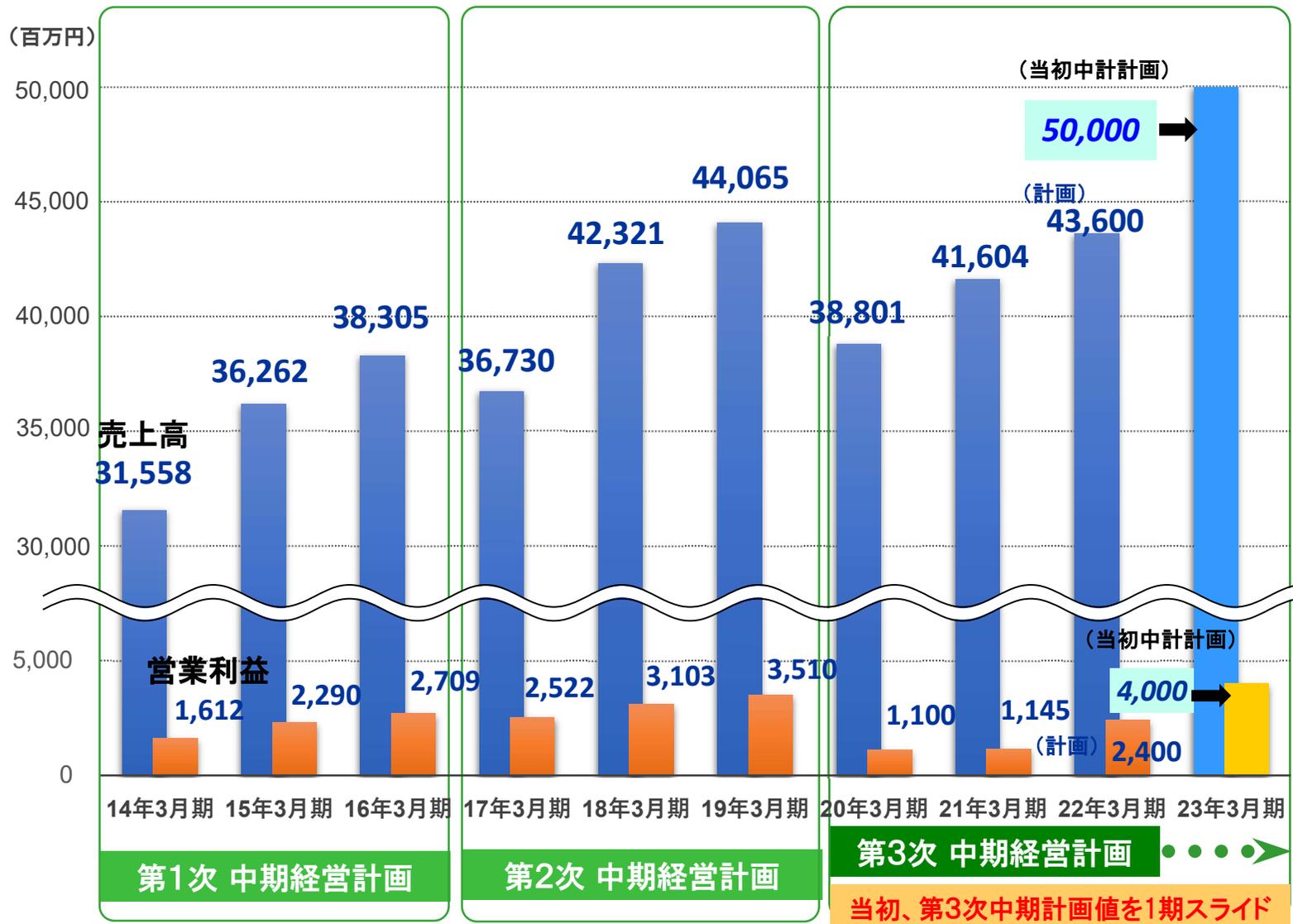
- ・ 2022年3月期 年間配当は、1株につき30.00円(中間15.00円、期末15.00円)を予定。

年間配当金／配当性向(連結)の推移



	2017/3月期	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期 (予想)
1株当り純利益	73.45円	73.85円	129.56円	32.30円	30.71円	125.62(予)
1株当り配当額	18.00円	23.00円	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円(予)
中間配当	8.00円	13.00円	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円(予)
期末配当	10.00円	10.00円	20.00円	5.00円	15.00円(予)	15.00円(予)
配当性向	24.5%	31.1%	23.2%	61.9%	65.1%	23.9%(予)
自己資本利益率	4.9%	4.8%	7.9%	1.9%	1.8%	—

連結売上高・営業利益推移 >>> 数値目標



中期経営計画【'20年3月期～'22年3月期】→ 事業展開



～2016年 第1次中期 経営計画	2017年 第2次中期経営計画	2018年	2019年	2020年	2021～2022年 第3次中期経営計画
<p>2015.1 中国太倉工場を 拡張移転</p>  <p>2012.5 タイ工場を設立</p>  <p>2009.7 初の海外生産拠点 中国太倉工場を設立</p>  <p>2006.10 上越工場を取得、 操業を開始</p> 	<p>2017.10 創業70周年</p> <p>2017.10 ホンマ・マシナリーを 事業承継</p>  <p>2017.8 累計販売13万台達成</p> <p>2017.6 兵庫県加西市に 中国営業所を開設</p> <p>2017.5 メキシコ・ケタロオフィス を開設</p>	<p>2018.3 米国テキサス工場が 稼働開始</p>  <p>2018.12 インド・チェンナイに 支店を開設</p> <p>2018.12 東欧スロバキアに 販売現法設立</p> <p>2018.10 広島営業所開設 (移転・昇格)</p>	<p>2019.9 中国太倉工場を 増築</p>  <p>2019.10 K展出展</p>  <p>➢SDGs実現への取組み 欧州、環境対応技術 (PLA等)拡販</p> <p>2019.3 九州営業所を移転</p> <p>2019.1 QC棟が完成</p>	<p>2020.1 NEGRI BOSSI S.P.A. 株式等取得</p>  <p>IPF JAPAN 2020 Virtual</p>  <p>2020.10～12 プライベートフェア開催</p>  <p>2020.12 累計販売14万台達成</p>	<p>2021.7 米国販社・米国工場 の統合 ⇒新 NISSEI AMERICA</p>  <p>➢生産体制強化 米国：製販力強化、 ネグリ・ボッシ社とのコラボ 中国生産ライン再編 日精ホンマ、大型機生産</p> <p>➢内覧会の活用 国内、米国での開催</p> <p>➢展示会の活用 ※23年3月期：K2022</p> <p>➢成形技術のDX対応</p> <p>➢環境素材対応</p> 

トピックス

ハイブリッド式超大型機「FWX2050Ⅲ-1100L」を 開発、販売開始

型締力基準ではなく金型寸法基準により成形機を選定する、
“大きな製品を小さな型締力で成形する次世代の成形思想”を牽引する成形機



- 従来のハイブリッド機の特徴を活かしつつ、
- ✓ 新複合型締方式の採用により機構全長が長くなる点を改善し、機械全体をダウンサイジング
 - ✓ 大きな金型から小さな金型まで幅広く対応する固定盤、可動盤設計
 - ✓ 低圧成形システム「N-SAPLI」による型締力のダウンサイジング

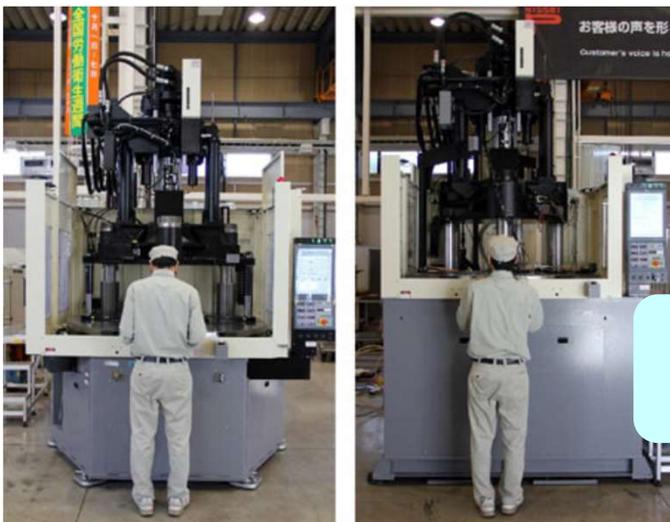
自動車関連産業向けを中心に受注拡大を図る

低床化を実現したハイブリッド式縦型射出成形機 「TWX-RⅢ」に大型機をラインナップ

インサート成形向けに新複合式型締機構を搭載し、
機械全体の低床化を実現したハイブリッド式縦型
射出成形機TWXシリーズに大型機を追加

型締力220トンのTWX220RⅢ25Vと
型締力300トンのTWX300RⅢ36Vをラインアップ

- ✓ 金型取付け面高さを約30%低床化して、シリーズ統一の1,000mm
⇒ 金型取付け等の段取替作業他、作業性の向上
- ✓ 機械全高を約10%低くして、成形工場の設置スペース向上、
天井高を抑えることによる工場新設の際の設備コスト抑制効果



左：TWXシリーズ、右：旧型タイプ

自動車、電子部品など幅広い分野の
インサート成形向けのニーズに対応



プライベートフェア開催

IPF Japan 2020 Virtual出展



これまで当社が進めてきた新機種、
新技術を紹介する場として
感染症対策を徹底したうえで、
プライベートフェアを開催

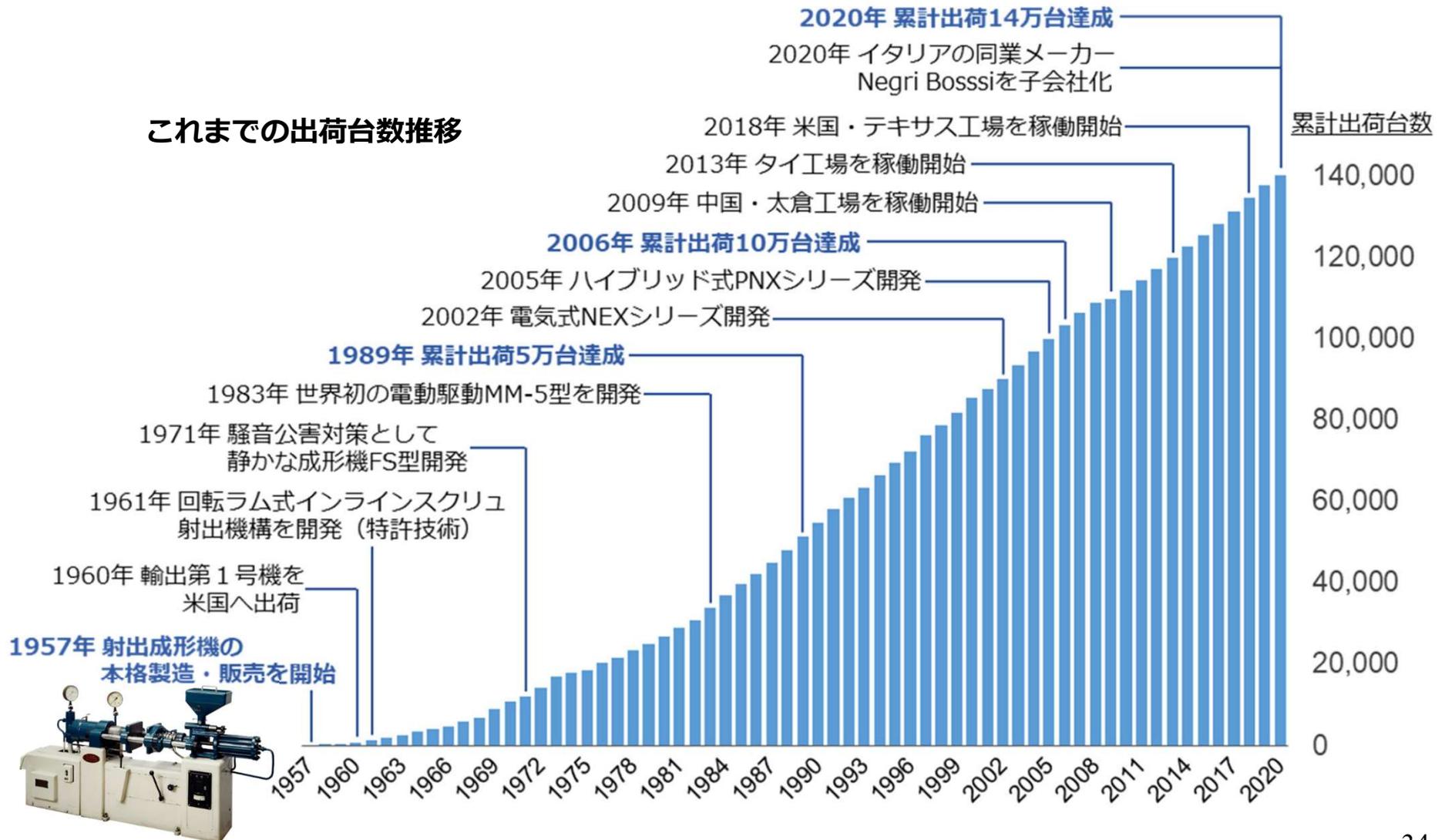


来場者登録により各社ブース閲覧、問合せ
⇒出展者とのコミュニケーションを図り、
国内外からの問合せに対応

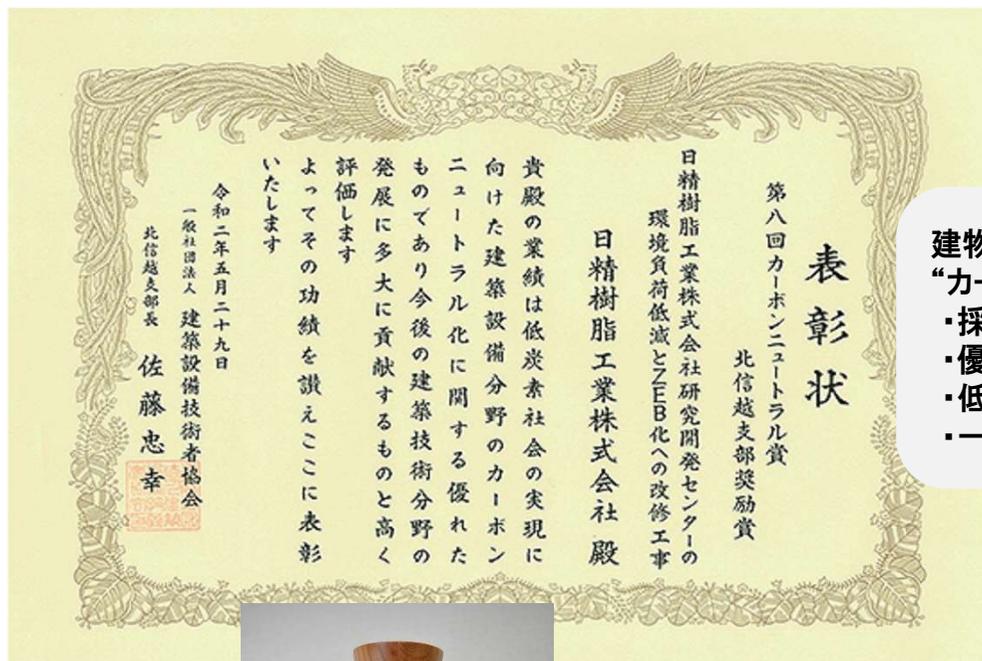


射出成形機累計出荷台数14万台を達成 (別途、ネグリ・ボッシ社、2020年累計出荷台数5万台を達成)

これまでの出荷台数推移



第8回カーボンニュートラル賞 (北信越支部奨励賞を受賞)



受賞対象: 当社 研究開発センター
環境負荷低減とZEB化への改修工事

- 建物からのCO2排出をゼロに近づける、“カーボンニュートラル化”に資する建物設備の取組みが評価
- ・採用した環境配慮技術
 - ・優れた環境配慮技術
 - ・低カーボンエネルギーへの転換
 - ・一次エネルギー消費量の大幅な削減



受賞トロフィー



研究開発センター

地方創生SDGsプラットフォーム参画・健康優良法人2021認定

地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

当社の保有する環境対応技術やその他の活動を通じSDGsの取組促進・達成することを目的に

SDGsの達成に向けて、内閣府が発足した『地方創生SDGsプラットフォーム』に参画



2021
健康経営優良法人
Health and productivity

当社では、健康増進を重視し、健康課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指しています。

従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する『健康経営』の取組が優良であると認められ

健康経営優良法人2021(大規模法人部門)に認定



日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
